

# さまざまなサポート体制で手厚く支援

## 01 事業承継個別相談会

- ・令和3年から相談員による無料の個別相談会を毎月開催
- ・相談員は熊本県事業承継・引継ぎ支援センターから派遣

## 02 あまくさ事業承継サポート会議

- ・令和3年に関係機関による天草地域事業承継プラットフォーム「あまくさ事業承継サポート会議」を創設
- ・個別相談会の実施や事業者への啓発、参画機関同士の連携を推進

## 03 オープンネーム

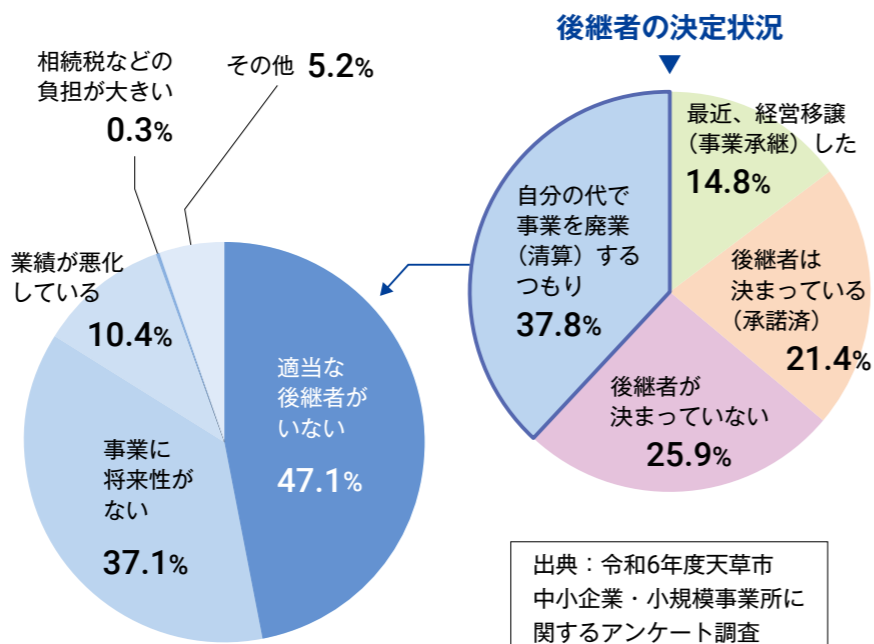
- ・令和6年から民間事業者と連携し、オープンネーム「relay the local 天草市」による事業承継支援を推進
- ・市特設の後継者募集ページを開設し、市内外や県外からの後継者募集の取り組みを支援

詳細は次ページへ！

# 天草市の現状

天草市などが令和6年に市内の中小企業・小規模事業者約2400者に行った「中小企業・小規模事業所に関するアンケート調査」では、「自分の代で事業を廃業（清算）するつもりである」と答えた事業者が約38%でした。その理由として、「適当な後継者がいない」が約47%と最も多く、次に「事業に将来性がない」、「業績が悪化している」が続いています。このことから、事業の見直しや業績改善の取り組みに対す

る支援、事業承継の支援が必要となっています。この傾向は全国と同様で、本市では昨年8月の豪雨被害を受けて廃業しようという動きもみられます。事業がなくなると、これまで培ってきた技術や人脈、雇用が失われるほか、地域のお店がなくなることで近隣住民（特に移動手段がない高齢者など）が利用できる場所が減り、買い物難民につながる可能性もあります。



「自分の代で事業を廃業（清算）するつもり」の理由

**従業員承継**  
従業員に承継する方法。経営能力のある人材を見極めて承継することができ、長期間働いていた従業員であれば、経営方針などの一貫性を期待できる。

**第三者承継 (M&A)**

社外の第三者（企業や創業希望者など）へ株式譲渡や事業譲渡により承継する方法。親族や社内に適任者がいない場合でも広く候補者を求めることができる。

**親族内承継**

経営者の子どもをはじめとした親族に承継する方法。長期間の準備期間を確保しやすく、相続などによる財産・株式の後継者移転が可能のため、所有と経営の一体的な承継が期待できる。

## 事業を引き継ぐ3つの方法

事業承継と一口に言っても、大きく3種類に分けられます。事業主の意向や会社の状況などにより、自分の会社に最もあったものを選択することになります。

特集

# 「事業承継」という言葉を

# 聞いたことがありませんか？

「あのお店今月で閉めるらしいよ」、「長く続いていたのに残念だね」などの話を見聞きしたことはありませんか。お店がなくなるとは、事業を行う人はもちろん、身近で買い物をするところが減ってしまうなど、皆さんにも影響があることです。後継者に引き継ぐ「事業承継」がうまくできていれば、継続できていたかもしれません。今号では、事業承継にかかる本市での取り組みを紹介します。

図 産業政策課 ☎32-6786

## 深刻な中小企業の高齢化

日本企業のうち99%を占める中小企業は、雇用や技術の担い手として日本を支える重要な存在です。しかし、中小企業の経営者の高齢化が進み、経営者年齢のピークはこの20年間で60歳代・70歳代へと大きく上昇しています。また、後継者の不在状況は深刻で、近年増加する中小企業の廃業の大きな要因の一つになっています。

## 熊本県事業承継・引継ぎ支援センター

事業承継・引継ぎ支援センターは、国が各都道府県に設置している公的な相談窓口です。中小企業診断士や税理士、行政書士などさまざまなキャリアを持ったスタッフが、事業承継全般に関する相談対応や事業承継計画の策定、M&Aのマッチング支援などを行っています。熊本県では県内を8つのエリアに分け、エリアコーディネーターと統括責任者補佐（サブマネージャー）が連携して対応しています。

天草地域（天草市・上天草市・苓北町）の  
担当者を紹介

## 大切な事業を未来へつなぐ

**○相談しやすい環境と  
県内トップクラスの実績**  
以前もそれぞれ商工会議所・金融機関で事業者と関わっていましたが、事業承継の話をする、「廃業を勧められているのか」と誤解されることもあり、なかなかお尋ねしにくい事柄の一つでした。しかし、現在は事業承継の専門機関と連携しているので、相談につながりやすい環境が整っています。

**統括責任者補佐  
（引継ぎ支援担当）**

地元金融機関出身の中小企業診断士。事業承継支援や経営改善支援、資金繰り、創業支援などが専門。5年目

**エリア  
コーディネーター**

約30年間、商工会議所の経営指導員として中小企業者の経営・経理・税務・金融・労務相談に携わる。6年目



富安航生さん  
こうせい

山下憲昭さん  
のりあき

**○事業承継の先進地**  
熊本県事業承継・引継ぎ支援センターは、熊本市に拠点を置き、基本的には拠点センターから担当者が各エリアに移動して対応しています。天草地域では、天草市にサテライトの拠点を設けているため、よりスピーディーできめ細やかな対応が可能です。エリアにも拠点を置いているのは全国的にも珍しく、天草は事業承継の先進地ともいえます。

**○「早めのスタート」が成功のカギ**  
事業承継が成立するまでには、さまざまな手続きが必要で、半年から長い場合は2〜3年ほどかかります。そのため、事前の準備として「事業承継計画書」を作成し、

まず、令和6年度の承継希望者とのマッチング数は、県内全体の約3割を占めるなど高い実績を誇っています。

手順や承継後のフォロー体制を明確にすることが不可欠です。「自分の店なんて」と悲観する必要はありません。従業員やお客さんのためにも、まずは早めに相談することが何より大切です。特に後継者候補がいる場合は、早めに意思表示をすることで、スムーズなバトンタッチが可能になります。未来へ事業をつなぐため、まずは一歩踏み出してみませんか。

平成29年に入社した際、前社長から事業の引き継ぎを考えているとの話があり、そのことを念頭に入れて業務に取り組んできました。そして昨年、事業承継の話を正式に頂きました。最初はお互いすぐできるだろうと思っていましたが、初めてのことでまず何から始めたら良いのか、どんな手続きが必要なのかも分かりませんでした。そんな時、市の広報紙に事業承継の個別相談会について掲載されているのを見つけ、さっそく前社長とともに6月に初参加。そこからほぼ毎月、合計8回相談に乗っていただきました。支援員のお二人は、こちらの疑問や質問などに対して丁寧に分かりやすく説明してくださり、司法書士や税理士とも連携をとってもらえとても助かりました。

今年2月、無事に事業承継が成立。保険代理店として先代が築いてこられたこの会社を今まで以上に発展させ、お客さまに寄り添い喜んでいただけるサービスを提供できるように地域に根差し尽力していきます。

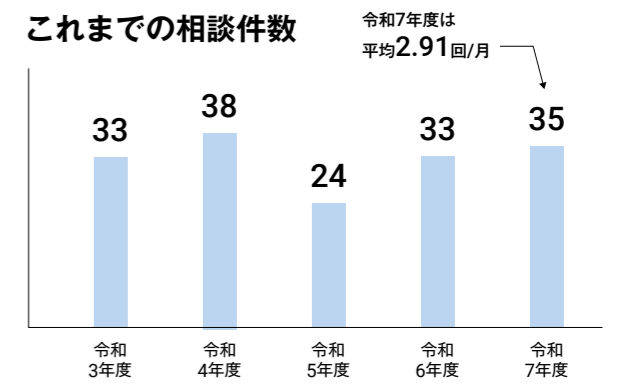


何回でもOK  
相談無料

## 01 事業承継個別相談会

市では熊本県事業承継・引継ぎ支援センターと連携して、市内2カ所で専門家による個別相談会を実施しています。事業承継には時間やお金も関係してくるため、早めの相談がポイントです。いつかは事業承継をしたいと考えている人や事業承継を予定している若手経営者候補など、どなたでも気軽にご相談ください。

※相談内容などの秘密は守られます。



・1日3コマ ※1コマは1時間～1時間30分

・開催日  
奇数月 3コマ（本渡会場） / 偶数月 6コマ（本渡会場・牛深会場）

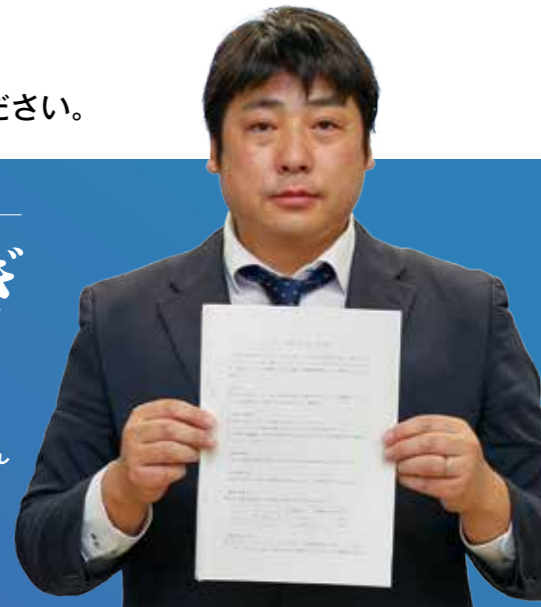
今月の予定  
日時 5月27日(水) 10:30～、13:00～、14:30～  
場所 複合施設ここらす 定員 3組（先着順）  
申込方法 5月26日(火)までに  
電話（産業政策課 ☎32-6786）で申し込んでください。



## 事業を引き継ぎました!

たいすけ  
(有)平尾エージェンシー 山下 大輔 さん

会社情報  
平成11年設立/従業員3人/保険代理店



- 今回の承継の流れ
- 1 前社長から事業承継の打診
  - 2 個別相談会に参加
  - 3 承継時期の決定、事業計画の策定など
  - 4 事業承継完了
- ※①～④まで約10カ月



# 令和8年度 天草市職員 採用試験 (前期日程)

試験区分		予定人数	年齢要件 (※1)
一般事務	大卒程度	10人程度	平成3年4月2日以降に生まれた人 (35歳以下)
	社会人経験者 (UIJターナー者枠) ※2	5人程度	昭和56年4月2日から平成8年4月1日に生まれた人 (31歳以上45歳以下)
土木技師	実務経験者 (UIJターナー者枠) ※2	2人程度	昭和56年4月2日から平成8年4月1日に生まれた人 (31歳以上45歳以下)
機械技師	大卒程度	合わせて1人程度	平成3年4月2日以降に生まれた人 (35歳以下)
	実務経験者 (UIJターナー者枠) ※2		昭和56年4月2日から平成8年4月1日に生まれた人 (31歳以上45歳以下)
社会福祉士 または 精神保健福祉士	大卒程度	1人程度	平成3年4月2日以降に生まれた人 (35歳以下)
学芸員 《考古学》	大卒程度	1人程度	平成3年4月2日以降に生まれた人 (35歳以下)

- ※1 年齢要件は、令和9年4月1日時点の年齢です。年齢以外にも要件がありますので、市ホームページまたは採用試験案内(総務課・各支所に設置)で必ず確認してください。
- ※2 UIJターナー者枠の一次試験は、全国のテストセンターで受験可能です。

市役所の業務についてインタビュー形式で紹介しています。



■採用予定日 令和9年4月1日 ■試験日程 7月12日⑩ 9:00～

■試験会場 市内本渡地区 (申込者に通知)

■申込方法 5月1日⑨から6月1日⑩までに、市ホームページおよび

採用試験案内に記載のURL・二次元コードから申し込んでください。

市ホームページ▼



※同日に実施する他の試験区分および9月に実施予定の後期日程試験との併願はできません。また、申込受付後の試験区分の変更はできません。

※一般事務(高卒程度)、土木技師(高卒程度)などの採用試験は9月20日⑩に実施予定

問 総務課 ☎24-8800

## 地域ぐるみでサポート

# 02 あまくさ事業承継サポート会議

天草地域(天草市・上天草市・苓北町)共通の課題である事業継続を支援するため、令和3年11月に「あまくさ事業承継サポート会議」を創設しました。関係機関が連携し、個別相談や啓発活動を通じて、地域全体で事業承継を支える体制の構築を目指しています。



# 03 オープンネーム



relay × 天草市



本市では、(株)ライトライトと連携し、令和6年6月からオープンネーム(実名公表型)によるマッチングサイト「relay the local 天草市」を運用しています。事業承継では一般的なノンネーム(会社名や所在地を公表せず募集する)とは異なり、事前に情報を知ることができるので、承継後のミスマッチを防ぐほか、早期成立が期待できます。経営者がどんな想いで企業や店舗を運営してきたかなどを記事としてまとめ、後継者候補を広く募集します。



「事業承継」とは、単に看板を掛けかえることではありません。これまで培ってきた技術や人脈、そして地域の雇用や、お客さんの笑顔という、かけがえのない財産を次世代へつなぐことです。

事業承継を成功させるカギは、早めの相談と準備にあります。「後継者がいない」と諦める前に、まずはご相談ください。すでに後継者が決まっている場合でも、スムーズな引き継ぎには十分な時間が必要です。

天草市は、専門機関と連携してあなたの事業承継を全力でサポートします。大切に守りつないできたもののために、まずはその一歩を一緒に踏み出してみませんか。

